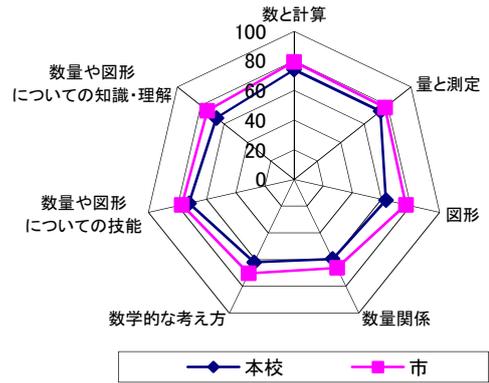


宇都宮市立新田小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	74.1	79.4
	量と測定	73.9	77.9
	図形	63.1	76.8
	数量関係	59.5	66.2
観点別	数学的な考え方	62.0	70.2
	数量や図形についての技能	72.2	77.1
	数量や図形についての知識・理解	66.5	74.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の正答率と比べると5.3%下回っている。特に、小数の大きさや小数のしくみ、概数の範囲についての理解が低い。また、漢数字で表された数を数字で表す問題の正答率も低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 数直線や図などを使って小数についての理解を深められるような指導を展開し、定着が図れるように繰り返し指導する。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均正答率と比べると、「分度器の中に示された角の大きさを測り求めることができる」という問題の正答率が13%下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 再度正しい分度器の使い方を復習するとともに、分度器や三角定規などの学習用具の使い方の定着を図るために、繰り返し指導する。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均正答率と比べると、球の半径から球が入る箱の辺の長さを求める問題の正答率が17%下回っている。また、二等辺三角形の作図の問題も14%下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図の中に長さなどの必要な情報を書き入れることができよう指導する。作図なども繰り返し指導し、定着を図る。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均正答率と比べると、四則混合の計算が、10%下回っている。また、折れ線グラフの特徴と有用性を示す問題では、21%、2次元表の読み方を示す問題では、12%下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフや表から読み取ったことを、文章に表す指導をするとともに、表にまとめて整理することの繰り返し練習し、定着を図る。